



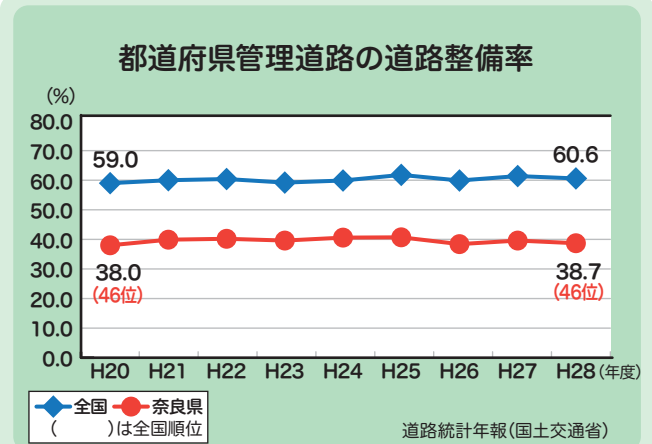
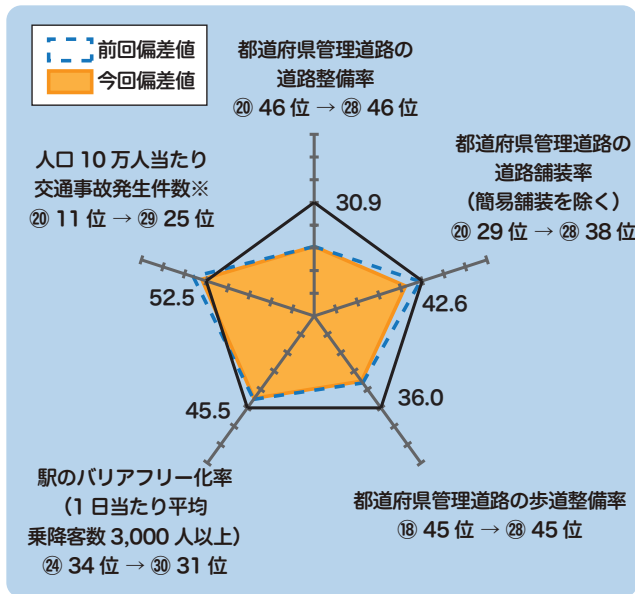
## 12. 道路整備



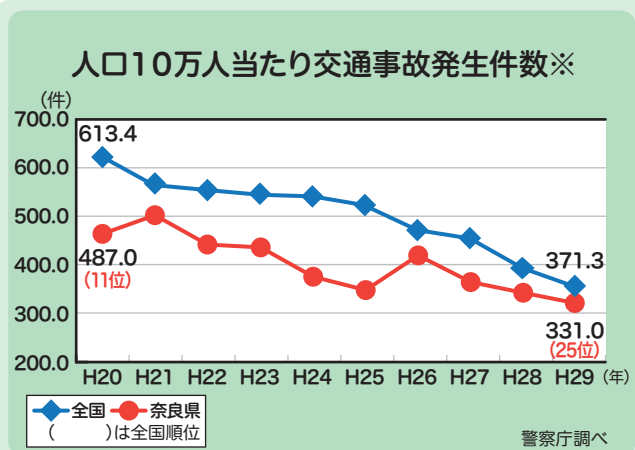
## 13. 鉄道整備



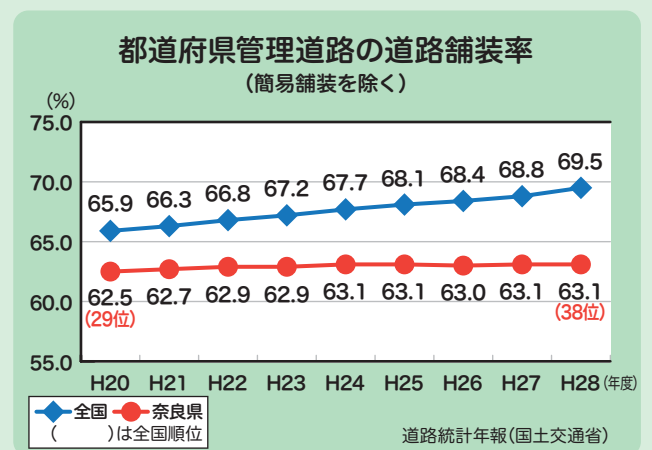
## 14. バス輸送環境整備



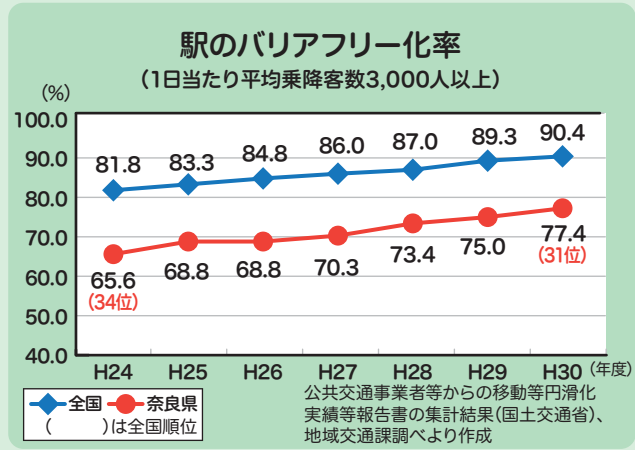
平成28年度の県管理道路の道路整備率約39%で、全国平均の約60%と比べて大幅な遅れとなっています。



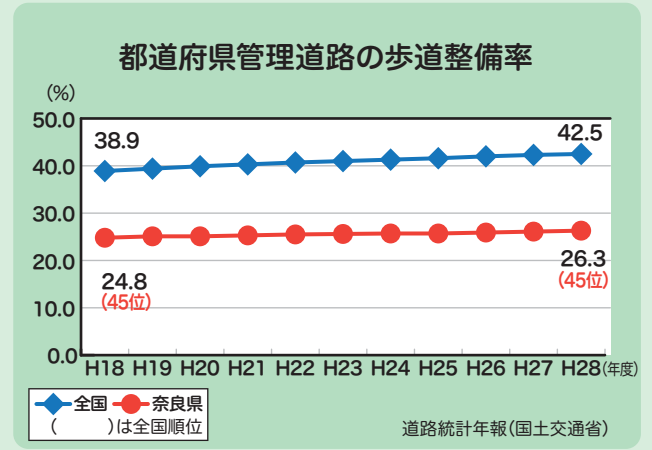
人口10万人当たり交通事故発生件数は、概ね減少傾向にあり、全国平均と比べても少なくなっています。



平成27年度の都道府県管理道路の道路舗装率(簡易舗装を除く)は、平成20年度から0.6ポイント上昇していますが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



駅のバリアフリー化率(1日当たり平均乗降客数3,000人以上)は、平均24年度と比べて11.8ポイント上昇しましたが、全国平均と比べて依然低い状態となっています。



平成28年度の歩道整備率は、平成18年度に比べ1.5ポイント上昇していますが、全国平均と比べると依然低い状態となっています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



## (63)京奈和自動車道の整備

## (64)京奈和自動車道関連(奈良エリア・西九条佐保線)

## (65)京奈和自動車道関連(橿原・高田エリア)

### これまで

全区間事業化され整備が進んできました。工事着手されていないのは大和北道路(仮称)奈良北ICから(仮称)奈良IC間のトンネル部分のみ。



京奈和自動車道の整備状況

橿原北IC～橿原高田IC間は、H29.3月末時点で104件の未買収地ありましたが、R1.9月末時点で40件まで減少しました。

### もっと良くするために

国土幹線軸に繋がる南北の大幹線京奈和自動車道の早期完成を目指します。

#### 目指す姿

令和2年度以降も引き続き、国とNEXCO西日本による事業推進、県は用地買収に協力します。

京奈和自動車道の工事がどんどん進んでいくね。早く全線開通してほしいね。



▲大和御所道路 (橿原北IC～橿原高田IC)の工事状況

大和北道路は、国とNEXCO西日本により工事が進められているよ。また、大和御所道路は、国により橋梁工事が行われているよ。県は今後も整備促進を国に働きかけ、用地買収に積極的に協力していくよ。



#### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大和北道路 ((仮称)奈良IC～郡山下ツ道JCT)の整備推進	用地・工事推進(事業者:国・ネクスコ西日本)		
大和御所道路 (橿原北IC～橿原高田IC)の整備推進	用地・工事推進(事業者:国)		



(66)～(69)大和平野中心部道路整備、  
 (70)～(71)アンカールート国道168号整備  
 (72)～(73)アンカールート国道169号整備、(74)大和平野東部道路整備

## これまでは

### 骨格幹線道路ネットワーク図

骨格幹線道路の概成が近くなってきていますが、用地買収など十分な事業進捗が図られていない箇所も存在しています。



### 令和元年度の骨格幹線道路の部分供用予定箇所

○枚方大和郡山線(中町工区)(奈良市)



○天理王寺線(長楽工区)(川西町、河合町)



## もっと良くするために

道路が整備されれば奈良県は良くなります。奈良県のまちづくりや安全・安心を支える道路整備を全力で推進します。

### 目指す姿

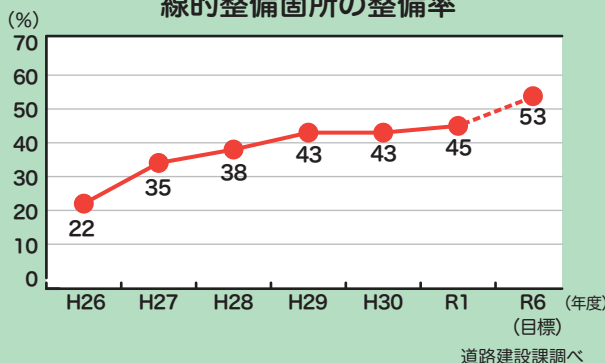
令和6年度までに骨格幹線道路ネットワークの線的整備箇所(注)の整備率を53%にします。

(注)線的整備箇所…骨格幹線道路ネットワークを形成する路線のうち、未改良区間及び未事業化箇所

県土の骨格を形成すべき、特に重要な路線を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、その重点的な整備を進めているよ。



### 骨格幹線道路ネットワークの 線的整備箇所の整備率



幹線道路の整備は大きな前進を見せているね。今後も各路線の早期完成を目指して工事を進めてもらいたいですね。



### 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
骨格幹線道路ネットワークの形成	路線の線的整備等の推進		

### [(66)～(73)の詳細]

(66)国道163号、(67)国道168号と周辺道路、(68)大和中央道、(69)阪奈道路結節点、(70)五條エリア、(71)十津川エリア、(72)御所・高取エリア、(73)川上・上北・下北エリア



- (75)道路の維持管理の計画化・体系化
- (76)域内道路の整備方針検討、奈良県道路整備計画の推進
- (77)道路整備個別箇所検討
- (78)用地買収・用地補償の円滑な進め方の検討

## これまでは

- ・奈良県では、道路整備を「選択と集中」の原則に基づき総合的かつ計画的に推進してきました。
- ・個別事業の進捗状況を管理しつつ、まちづくり等を常に意識し、道路計画そのものを適宜見直す必要があるのではないか。

## もっと良くするために

- ・「奈良県道路整備基本計画」において、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を「骨格幹線道路ネットワーク」と位置づけ、重点的に整備を推進します。
- ・「選択と集中」の深化と道路整備の体系化を進め体系的な考え方の基に個別の事業を判断します。

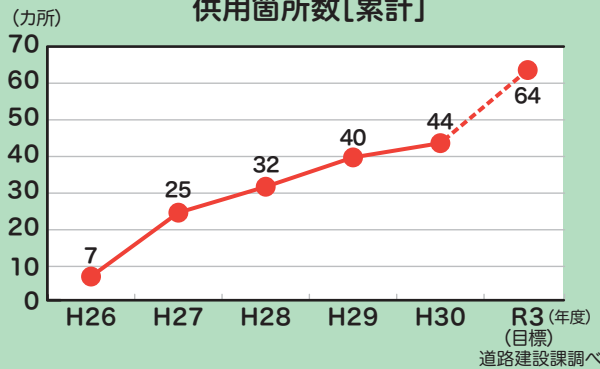
## 目指す姿

令和3年度までに道路の供用目標の宣言箇所における供用箇所数を64カ所にします。

完成に向けた事業実施環境が整っていて、概ね3年以内に開通が見込まれる箇所について、供用時期の公表を行っているんだよ。また、周知看板の設置などを行い、地域の方々などに、事業協力へのお礼をお伝えしているよ。



道路の供用目標の宣言箇所における  
供用箇所数[累計]



平成30年度は4カ所が供用しています。令和元年度は、中町工区(奈良市)や長楽工区(川西町、河合町)などが供用するらしく、今後もどんどん工事を進めてもらいたいですね。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
調査路線における道路整備の必要性の確認	道路整備による目的貢献度の調査、ルート比較による候補路線の抽出		
奈良県経済の進展に対応した目的志向の道路整備	企業立地・観光振興・まちづくりに資する道路整備の推進		
安全・安心を支える道路整備	災害に強い道路整備・老朽化対策・交通安全対策の推進		



# (79) 近鉄西大寺駅の高架化

# (80) 近鉄奈良線の移設

## これまでは

大和西大寺駅及び平城宮跡周辺の8踏切が踏切道改良促進法「改良すべき踏切道」に指定されました。令和2年度中に鉄道事業者(近鉄)及び道路管理者(県及び奈良市)は国土交通大臣に「踏切道の改良に関する計画」を提出しなければなりません。



「改良すべき踏切道」指定箇所図

## もっと良くするために

- ・連携協定に基づく3者(近鉄・奈良県・奈良市)で、大和西大寺駅の立体交差化及び近鉄奈良線移設・新駅設置の検討をしており、令和元年10月までに計7回の協議を開催したところです。
- ・「踏切道改良計画」を提出する令和2年度末までに踏切対策の具体案について結論を得ます。

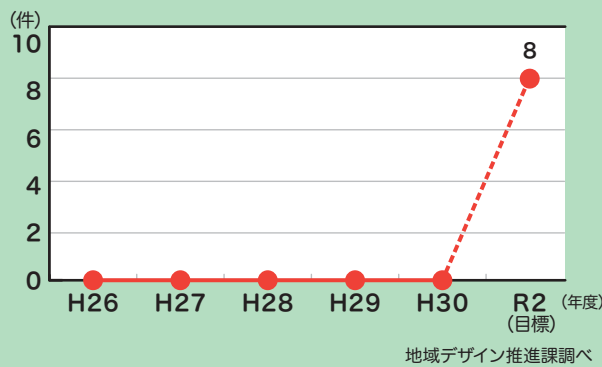
## 目指す姿

令和2年度末までに踏切道改良計画の策定件数を8件にします。

道路と鉄道を立体交差化すると、踏切がなくなって、踏切における渋滞が解消されるんだね。



### 踏切道改良計画の策定件数



立体交差化などの踏切対策を進めることで、自動車や歩行者の交通がスムーズになるだけでなく、踏切における事故の防止にもつながります。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
渋滞対策案の検討	渋滞対策案のとりまとめ、整備効果の検討		
踏切道改良計画の作成	法定協議会の運営、計画の作成	策定	
踏切道改良計画の実施に向けた検討		調査・計画(予定)	



# (81) 鉄道駅バリアフリー化の促進

## これまで

- ・ 3,000人以上の乗降客のある鉄道駅のバリアフリー化について、鉄道事業者を支援しています。
- ・ 県内の平成30年度末の進捗状況は、77.4%の進捗率となっています。バリアフリーの全国値は平成30年度末時点で90.4%であり、本県の進捗は遅れています。

【バリアフリー化がされていない駅】

- ・近鉄 13駅
- ・JR 1駅



近鉄真菅駅のバリアフリー化(橿原市)

## もっと良くするために

○鉄道事業者への支援を行うことで、鉄道駅のバリアフリー化を進めます。

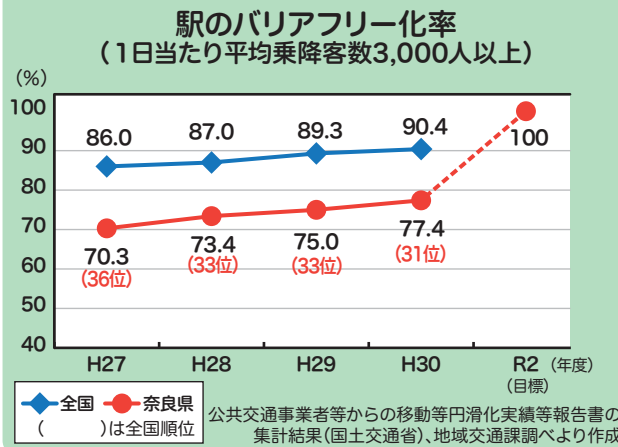
【バリアフリー化がされていない駅】

- ・国の施設基準を満たさない駅: 5駅
- ・ホームまでの経路の段差が未解消の駅: 9駅

## 目指す姿

令和2年度までに1日当たりの平均乗降客数3,000人以上の鉄道駅のバリアフリー化率を100%にします。

県内の鉄道駅のバリアフリー化は、全国に比べて遅れているんだね。



そうなんですよ...。でも、国や、市町村とも連携しながら、鉄道事業者への支援を続けていて、毎年、着実に進捗しています！



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
鉄道駅のバリアフリー化に取り組む鉄道事業者への支援	鉄道事業者への支援		



# (82) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定

# (83) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅と 関西空港直結リニア新幹線

## これまで

- ・ まちづくりの具体的な検討や、結節性を確保するための計画的な整備を進めるためには、リニア中央新幹線の駅位置とルートとの早期確定が必要です。  
「三重・奈良・大阪ルート」を前提として、三重県、大阪府と連携し、早期確定の要望活動等を実施してきました。
- ・ 「奈良市附近」駅を中心とした交通体系についての調査・検討等を行ってきました。
- ・ その中で関西国際空港とリニア中央新幹線「奈良市附近」駅をリニア新幹線で直結する構想が浮上しました。

## もっと良くするために

- ・ 2037年の全線開業に向け、JR東海が駅・ルートの公表に向けた準備をできるだけ速やかに進められるよう、誠実な信頼関係に基づく実質的な協力、連携をJR東海と進めます。
- ・ 「奈良市附近」駅と関西国際空港を直結する「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想を具体化する手法を検討します。

## 目指す姿

- ・ リニア中央新幹線のルート・駅位置の早期確定を目指します
- ・ 関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想について調査・検討します

リニア中央新幹線が全線開業すれば、東京・大阪間が約1時間、鉄道で1日で行ける範囲も大きく広がるんだね！



(出典)国土交通省「スーパーメガリージョン構想検討会最終とりまとめ」より抜粋

そうですね。さらに奈良県では、「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」構想の検討を行っています。



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三重県、大阪府と連携した要望活動等の実施	三重県、大阪府と連携した活動		
駅・ルートの公表に向けたJR東海との協力・連携	JR東海との協力・連携		
関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想の検討	構想について調査・検討		



# (84)バス路線網改善についての不断の見直し

## これまででは

バス路線網の合理的基準による見直しを図ってきました。

- 「奈良県地域交通改善協議会」において、「移動ニーズに応じた交通サービス」の実現に向け、路線の必要性・補助の妥当性を5つの診断指標に基づき判断することを市町村と合意。(平成25年10月)
- 県全域を18のグループに振り分けた路線別検討会議において、路線概況、『診断』結果等をまとめた「バスカルテ」を作成。
- PDCAサイクルにより、診断指標に基づき、毎年度診断を客観的に実施。この結果、**診断結果が全体として改善傾向**にあると判断。

・ 1便あたり利用者数	3.0人以上
・ 平均乗車密度	2.0人以上
・ 最大乗車人員	10.0人以上
・ 収支率(交通事業者)	40%以上
(市町村連携)	20%以上
・ 利用者一人あたりの行政負担	2,000円以下

【5つの診断指標】

## もっと良くするために

県内市町村、奈良交通と協力して県内バス路線網の改善について不断の見直しを行います。

- ・ 今後も、PDCAサイクルにより、5つの指標に基づき、毎年度診断を客観的に実施します。その結果、「要改善」となった路線については、市町村と協働・連携してバス路線網の見直しを行います。
- ・ バス需要の変化に対応するため、新たなバス路線の創設などバスサービスの改善について関係市町村と検討します。
- ・ 「奈良県公共交通基本計画」、「奈良県地域公共交通網形成計画」を改定します。
- ・ バス運転手のMRI検査の実施など安全対策の強化を図ります。

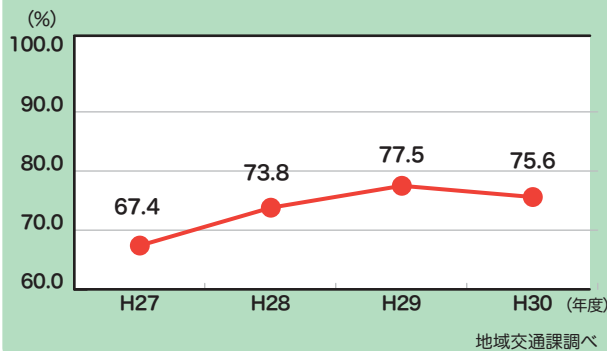
## 目指す姿

関係市町村と連携しバス路線網の見直しを行い、バスサービスの改善を図ります。

最近、路線バスの本数やダイヤが変わったよね！



### 5つの指標全てを達成している系統の割合



よく知ってますね。移動ニーズに応じた交通サービスの実現を目指して、バス路線網の見直しを行っています！



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
県内バス路線網の見直し	公共交通基本計画等の改定	地域交通改善協議会の開催	
バスの運行費補助	バス路線のPDCAサイクルによる5つの指標に基づく診断		





# (85) バス停アメニティ向上・バス輸送サービス改善

## これまでは

バスは県民、市民の足であるとともに、観光客の利用もあります。弱いと言われてきた域内輸送サービスの改善が必要です。

- バス停アメニティ向上を図ってきました。  
バス停上屋21基の整備を支援
- バスロケ整備を進めています。  
奈良交通路線バスの位置情報をGPS方式によりパソコン・スマートフォン(バス検索サイト)、主要バス停等に設置されたデジタルサイネージで提供するバスロケーションシステムを整備



バスロケーションシステム  
(スマートフォン画面イメージ(奈良バスなびweb))

## もっと良くするために

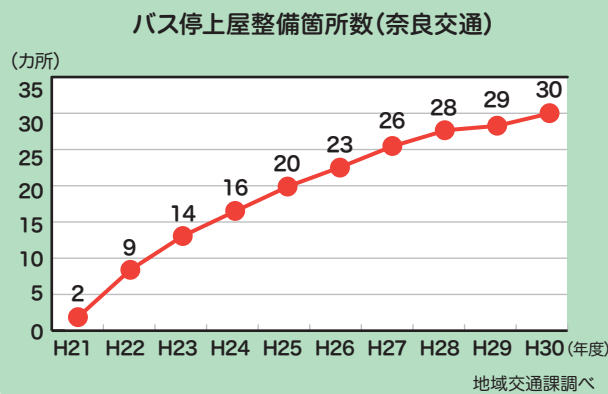
域内移動快適化のための輸送サービスの改善をさらに進めます。

- ① バス停アメニティ向上に向けた取組を支援していきます。  
・バス停上屋やベンチなどの設置  
・多言語対応の案内標識や多機能トイレ設置など、バス停を高機能化
- ② バスロケ整備をさらに進めます。  
・奈良県コンベンションセンターバスターミナル、大和八木駅、大和西大寺駅、主要な病院等にバス総合案内システムを設置  
・バスロケQRコードを観光客の多いバス停より、順次全バス停に整備
- ③ 観光地広域周遊バスの実証運行について支援していきます。
- ④ 郵便局、コンビニ、事業所内でのバス停機能設置可能性について検討します。

## 目指す姿

公共交通の利用環境の整備を進めます。

最近、バス停に次のバスの位置が分かる設備や、鉄道駅等にバス停等の案内が表示されている設備を見かけるようになったね!!



そうなんです!! バスの利用が、もっと便利になるように、バス停の上屋やベンチの整備も進めていきますよ!!!



## 主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
バス停上屋・ベンチ等の整備	奈良交通、市町村への支援		
バスロケーションシステムの整備	奈良交通、市町村への支援		
観光地広域周遊バスの実証運行	奈良交通への支援		



国道168号(仮称)新阪本橋の工事現場(五條市)



国道168号十津川道路開通式(十津川村)



バス総合案内システム(JR奈良駅)